

令和7年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

美 術

受 験 番 号		氏  名	
------------------	--	------------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）における芸術科「美術Ⅰ」のA表現(1) 絵画・彫刻の学習として、アクリル絵の具を用いて自画像を描く題材を設定した。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) アクリル絵の具の特徴について説明せよ。また、アクリル絵の具を使用する際の指導上の留意点について書け。

(2) 題材の導入（第1時）において、次の作品を鑑賞させたい。①～③の問いに答えよ。

作品

① 作品の作者名を答えよ。

② 第1時の学習の流れを考え、時系列に沿って5つの活動で答えよ。

③ 鑑賞活動を通して生徒に理解させたいポイントを、学習指導要領の〔共通事項〕を踏まえて答えよ。

(3) 生徒が自画像の構想を練る際の活動として、どのようなことが考えられるか。具体的に3つあげよ。

2 次の(1)～(3)の語句について説明しなさい。また、それぞれに関わりの深い作品を以下のア～カから記号で答え、その作者名を書きなさい。

(1) レディ・メイド

(2) デカルコマニー

(3) アクション・ペインティング

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

3 次の(1)～(4)の語句について、それぞれ説明しなさい。

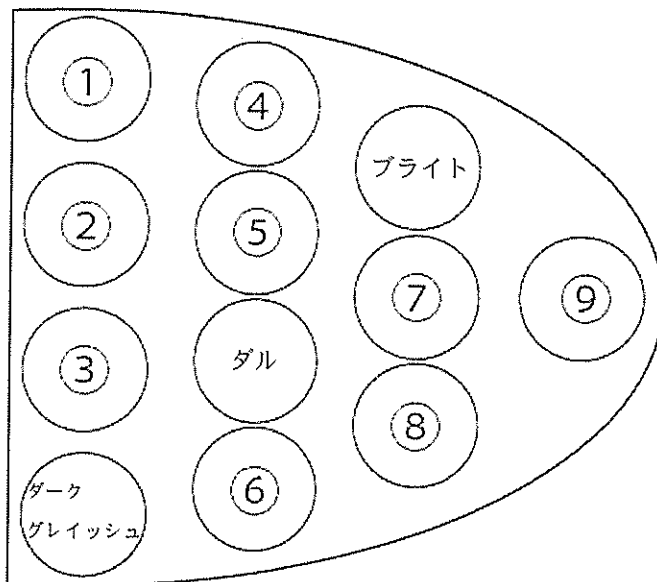
- (1) 印象主義           (2) バロック           (3) フォーヴィズム           (4) ルネサンス

4 デザインの学習に関する次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 色の三属性とは何か、答えよ。

(2) 次の図はPCCS トーン分類図である。次の①～⑨に入る各トーンの名称を語群から選び、A～Iの記号で答えよ。

(図)



(語群)

- |       |          |             |
|-------|----------|-------------|
| A ライト | B グレイッシュ | C ライトグレイッシュ |
| D ダーク | E ディープ   | F ビビッド      |
| G ソフト | H ペール    | I ストロング     |

(3) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)における芸術科「美術I」A表現(2)デザインの学習において、「文化祭ポスター」をつくる題材を設定した。その際、生徒から配色の工夫について相談された。どのような工夫が考えられるか、2つ書け。

5 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)における芸術科「美術I」A表現(3)映像メディア表現の学習において、写真で表現する題材を設定した。撮影した写真データは、表現の意図を効果的に表すため、用途によって適したファイル形式で保存する必要があるということを生徒に説明するにあたり、次の(1)～(4)のファイル形式の特徴について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

- (1) JPEG           (2) TIFF           (3) PNG           (4) GIF

6 彫刻について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 「塑造」と「彫造」についてそれぞれ説明せよ。

(2) 次のア～エの作品のうち、「塑造」に当てはまるものをすべて答えよ。

ア                                  イ                                  ウ                                  エ

(3) 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）における芸術科「美術Ⅰ」A表現(1)絵画・彫刻の学習において、粘土で「表情のある手」をつくる題材を設定した。次の①、②の問いに答えよ。

① 題材の導入における生徒の活動例と指導上の留意点を書け。

② 題材のまとめにおいて、作品を相互に鑑賞する活動を設けたい。指導上の留意点を書け。

7 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）における芸術科「美術Ⅰ」の目標である。後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

美術の（ ① ）創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、（ ② ）に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の（ ③ ）などについて考え、主題を生成し（ ② ）に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の（ ① ）創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

(1) 文中の（ ① ）～（ ③ ）に当てはまる語句を書け。

(2) 上記の目標(1)～(3)は、美術Ⅰにおいて育成を目指す資質・能力を示している。それぞれの資質・能力に対応する評価の観点を答えよ。また、(3)に対応する評価について、指導と評価の一体化を図る上での留意点を書け。

8 デザインの学習でピクトグラムをつくる題材を設定した。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) ピクトグラムで表す対象を学校内施設とし、施設名を明記して、作品例として生徒に示す図案を描け。

(2) ピクトグラムについて、生徒に理解させたいことを説明せよ。

美術 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
---------	-------	------	--	----	--

(7年)

1

(1)	特徴	
	指導上の留意点	
(2)	①	作者名
	②	.
		.
		.
		.
	③	
(3)		

2

(1)	語句の説明	作品	作者名
(2)	語句の説明	作品	作者名
(3)	語句の説明	作品	作者名

3

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

4

(1)					
(2)	①	②	③	④	⑤
	⑥	⑦	⑧	⑨	
(3)					

美術 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
---------	-------	------	--	----	--

(7年)

5

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

6

(1)	塑造	彫造
(2)		
(3)	①	活動例
		留意点
	②	

7

(1)	①		②		③	
	(1)の観点		(2)の観点		(3)の観点	
(2)	留意点					

8

(1) 施設名 _____ 図案
---------------------

(2)	
-----	--

以下はあくまでも解答の一例です。

美術 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(7年)
---------	-------	------	----	------

1

(1)	特徴 (例) 水に溶けるが、乾くと耐水性になり、薄塗りから厚塗りまで幅広い表現が可能。	3	
	指導上の留意点 (例) 乾くと固まって水に溶けなくなるので、作業中は筆や刷毛は水に浸けておき、絵の具にはラップをかけるなどして乾燥を防ぐようにする。	3	
(2)	① 作者名 ヴィンセント・ファン・ゴッホ	3	
	②	・(例) 参考作品の初見の印象をグループで話し合う。	2
		・(例) 話し合った内容をいくつかのグループが発表し、クラス全体で共有する。	2
		・(例) 作者について略歴や人物像を知る。	2
		・(例) 初見の印象と変わった点や新たに気づいた点をグループで話し合う。	2
		・(例) 話し合った内容を基に、再度鑑賞する。	2
③ (例) 造形の要素の働きや全体のイメージや作風、様式などで捉えること。	6		
(3)	(例) ワークシートを活用して過去や未来の自分について考え、スケッチに取り組む。	4	
	(例) いろいろな角度から自分の顔を観察し、自分らしさを表すポーズや構図を考える。	4	
	(例) 作家が描く様々な自画像を鑑賞し、自分なりの表現について考える。	4	

2

(1)	語句の説明 (例) 工業製品を作品として提示すること。	4	作品 ウ	作者名 マルセル・デュシャン
(2)	語句の説明 (例) 平らな紙に絵の具を厚めに塗り、紙やアクリル板などを載せて圧力をかけ、紙をはがすことのできる偶発的な形を得る技法のこと。	4	作品 カ	作者名 マックス・エルンスト
(3)	語句の説明 (例) 筆で描くのではなく、ドリッピングなどの技法を使い表現すること。	4	作品 オ	作者名 ジャクソン・ポロック

語句の説明 各4 作品 各2 作者名 各3

3

(1)	(例) 自然光の表現をパレットの混色ではなく、画面上の筆触で表現しようとした画家たちの作風のこと。	5
(2)	(例) 劇的な明暗や激しい動勢が特徴的な16世紀末から18世紀前半の芸術様式のこと。	5
(3)	(例) 色彩を表現手段とした、原色を用いた配色や荒々しく大胆な筆触による表現のこと。	5
(4)	(例) 古代ギリシャやローマ文化の復興と再生を求めた運動のこと。	5

4

(1)	色相、明度、彩度のこと。					3					
(2)	①	H	②	C	③	B	④	A	⑤	G	
	⑥	D	⑦	I	⑧	E	⑨	F	(2) 各3		
(3)	(例) ポスターで伝えたいイメージを考え、そのイメージに合うトーンや色相を選んで配色する。										4
	(例) 色覚特性に配慮し、形を識別しやすい色の組み合わせを考えたり、文字に縁取りを付けたりする。										4



美術 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名	(7年)
---------	-------	------	----	------

5

(1)	(例) 圧縮率が高い割に画質低下が少なくファイルサイズを選べるが、一度低画質で保存してしまうと、元の高画質には戻せない。	4
(2)	(例) 高画質・高解像度の画像保存に向いているが、1枚あたりのファイルサイズが大きくなる。細かな調節を必要とする印刷や写真の出力に向いている。	4
(3)	(例) スクリーンショットやコンピュータ上での使用に適している。一度圧縮しても、圧縮前の品質の画像データに戻すことができる。	4
(4)	(例) 簡易的なアニメーション制作に適している。256色しか表現できないため、ファイルサイズを小さく抑えることができる。	4

6

(1)	塑造 (例) 粘土やろうのような軟らかい材料を芯棒につけて制作するもの。	3	彫造 (例) 石や木などの塊を彫って制作するもの。	3
(2)	ア、エ	完答 4		
(3)	① 活動例 (例) 思いや感情を表すポーズを取りながら形体や構成の表し方を考え、いろいろな角度から手を観察してスケッチする。			4
	留意点 (例) スケッチに取り組む際、自分の思いや感情が表せるポーズを考えさせ、手の構造についても理解を深めさせる。			4
	② (例) 自分の作品と比較させ、他者の主題と表現意図や工夫の相違点を確認させる。また、作者の心情や意図と表現の工夫などを読み解かせ、作品のよさや美しさを創造的に味わわせる。			4

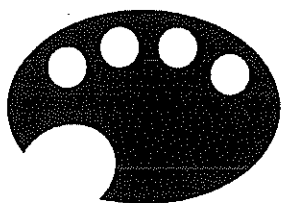
7

(1)	① 幅広い	② 創造的	③ 働き
(2)	(1)の観点 知識・技能	(2)の観点 思考・判断・表現	(3)の観点 主体的に学習に取り組む態度
	留意点 (例) 作品の出来やワークシート等の提出状況のみで判断するのではなく、表現活動において試行錯誤を繰り返して粘り強く取り組んだりよりよい表現を目指して構想や技能を工夫改善したりしていく様子などの姿を捉えながら指導と評価を行うようにする。		

(1) 各3 (2) 観点 各3、留意点 6

8

(1) 施設名 (例) 美術室  
図案



(2)	(例) ピクトグラムは言葉を用いず、伝えたい内容やイメージを視覚的に記号化したものである。誰にでも分かりやすく単純化したデザインには、形や色彩など造形の要素が感情にもたらす効果や、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴が捉えられていることを理解させたい。
-----	--

6